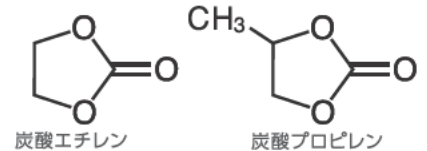


炭酸アルキレン <浸透促進剤>

エマコール SPD-200

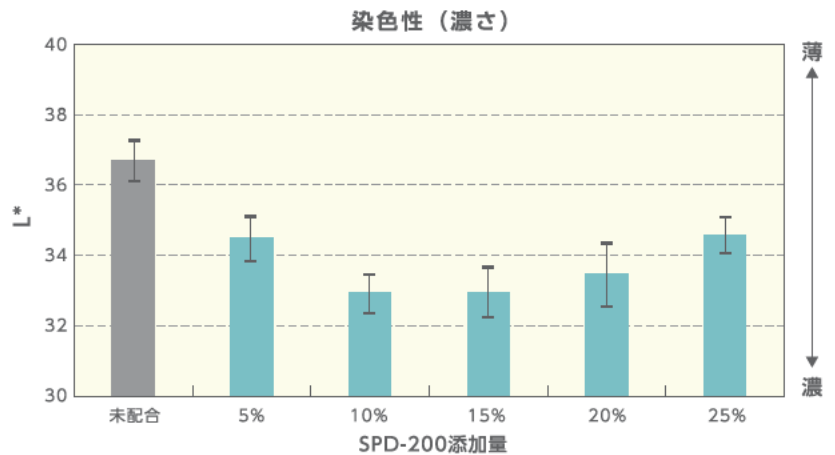
特長

- 炭酸エチレンと炭酸プロピレンの混合物
- 非プロトン性極性溶媒であり、多様な成分の溶解性・浸透性を向上します。
- 水となじみにくい毛髪の疎水部にも浸透し、髪を形状を整えやすくします。
- 熱を加えて使用することで、毛髪のうねりや広がりを抑える効果が高まります。
- 毛髪内架橋形成によるダメージ補修・髪質改善効果が期待されます。



浸透促進作用（染色試験）

- 試験方法：一定量の染料水にSPD-200を添加して試液を調製。試液に毛束を20分浸漬して染色し、色差を測定。
<条件> 染料水：塩基性青99 0.3%水溶液 SPD-200添加量：未配合、10%、15%、20%、25%



炭酸アルキレンが毛髪への染料の浸透を促進することで染色性が向上

ストレート効果と持続性（耐湿度性）

- 試験方法：酸性ストレートパーマの前処理剤としてSPD-200原液を用いて、ストレート効果と耐湿度性を確認。
*SPD-200塗布 → 1剤塗布 → 15分放置 → すすぎ → ドライ → 180℃アイロン処理 → 2剤塗布 → 10分放置 → すすぎ → ドライ → 180℃アイロン



SPD-200を前処理剤として用いることにより、ストレート効果が高まり、湿度による影響も受けにくい

ストレート効果と持続性（耐シャンプー性）

● 試験方法：酸性ストレートパーマの前処理剤としてSPD-200原液を用いて、効果と耐シャンプー性を確認。

*SPD-200塗布 → 1剤塗布 → 15分放置 → すすぎ → ドライ → 180℃アイロン処理 → 2剤塗布 → 10分放置 → すすぎ → ドライ → 180℃アイロン

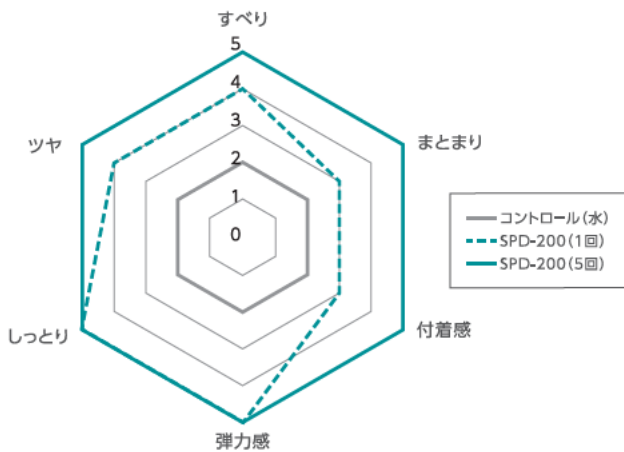


SPD-200によりストレート効果が高まり、シャンプー後もストレート感・まとまり感が持続

官能評価試験

● 試験方法：ダブルブリーチ毛を水で濡らして、SPD-200を塗布→すすぎ→ドライ→180℃アイロン。

この操作を5回繰り返し、感触を評価。



	コントロール(水)	SPD-200(1回)	SPD-200(5回)
すべり	2	4	5
まとまり	2	3	5
付着感	2	3	5
弾力感	2	5	5
しっとり	2	5	5
ツヤ	2	4	5

弾力・しなやかさ・うるおいがあり、髪質を選ばない質感

相溶性

1:1	エタノール	グリセリン	PG	DPG	BG	オリーブ油
	○	×	○	○	×	×

注意事項

● 水厳禁

本資料に記載した情報は、現時点で得られた最新の知見に基づくものですが、その内容を保証するものではありません。また、最終製品の安定性や有用性、他社特許の回避を保証するものではありません。処方設計ならびに関連法規への準拠につきましては、お客様にて十分にご検討・ご確認の上、ご判断くださいますようお願い申し上げます。なお、本資料の内容について、当社の許可なしに転載・複製・特許出願することはご遠慮ください。

【お問い合わせ先】

 **山栄化学株式会社**
SAN-EI KAGAKU CO.,LTD.

美容薬品営業部

〒114-0004 東京都北区堀船1丁目31番16号

TEL: 03-3927-8409 FAX: 03-5959-8721

URL: <https://www.san-eikagaku.com>